

2020年 11月 4日

各 位

北おおさか信用金庫
理事長 若槻 勲

株式会社 日刊工業新聞社 大阪支社
取締役大阪支社長 竹本 祐介

キャンパスベンチャーグランプリ大阪2020 (CVG 大阪2020)
新型コロナウイルス感染症への対応につきまして

謹 啓 日頃は日刊工業新聞社の諸事業に格別のご愛顧をいただき厚く御礼申し上げます。

北おおさか信用金庫と共催しております、学生によるビジネスプランコンテスト「キャンパスベンチャーグランプリ大阪 (CVG 大阪)」に、多大のご支援をいただき誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、厚生労働省他関係各所より、国民・企業・事業者に対し感染拡大の防止に向けた行動を強く推進するよう呼びかけられております。

本コンテストにつきましても、厚生労働省ならびに世界保健機関 (WHO) が推奨するさまざまな予防措置と、日本展示会協会が取りまとめた「展示会業界における COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」に基づく安全対策を講じるとともに、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室が提示した「催物の開催制限 (11/30 開催までの催物が対象) (9/11 公開) にもとづき対応を進めております。

11月25日 (水) 開催予定のプレゼン審査会 (第二次審査会) および、12月7日 (月) 開催予定の最終審査会・表彰式につきましては、上記方針に即した感染症対策を実施するとともにリモート開催を組みわせることで会場収容率の低減を図り、参加者ならびに関係者の安全確保に努めます。

なお、12月7日開催予定の最終審査会につきまして、上記「催物の開催制限」の内容変更を受け、実施方法を変更する場合がありますことをご承知おきください。

謹 白

【問い合わせ先】

CVG大阪事務局 (日刊工業新聞社 大阪支社内)

〒540-0031 大阪市中央区北浜東 2-16

担当: 業務局 事業・出版部 副部長 今堀 崇弘

TEL (06) 6946-3372 / FAX (06) 6946-3389

e-mail: t.imahori@media.nikkan.co.jp

【基本的な対応策】

1. 全参加者と個人の安全の確保

1-1 感染リスクを抑えた入場管理の徹底

- 全参加者（出展者・来場者・その他関係者等）の氏名、連絡先を把握し、必要な際は保健所への連絡に使用する。

1-2 参加者、関係者への検温の実施

1-3 全参加者に以下の場合には参加を控えるようあらかじめ告知します。

- ①発熱がある／②咳・咽頭痛・息苦しさ等の症状が認められる／③保健所等の健康観察下にある
- ④2週間以内に海外渡航歴がある（当該期間に帰国した方と接触した場合も含む）
- ⑤そのほか体調が優れない（味覚・嗅覚異常を感じる時や疲労倦怠感を強く感じる時などを含む）

1-4 参加者・関係者へのマスク着用の徹底および非着用者への配布

1-5 消毒液等の感染予防アイテムの会場内設置

2. ソーシャルディスタンスの確保（3密の回避）

2-1 会場などにおける座席間の距離の確保

2-2 講演者演台へのアクリルパネルの設置

2-3 会場におけるレイアウト調整（密を避けるレイアウト）

3. 健康と安全対策の促進

3-1 運営スタッフ向けのビニール手袋の配布

3-2 検温結果により入場をお断りする方のための隔離室の設置

3-3 清掃、消毒の奨励

3-4 会場など関連施設での換気配慮

3-5 会場の座席、マイクの消毒や、多くの人が触れる場所、トイレなど共有施設の巡回清掃・消毒の徹底

3-6 マイクの共有は最小限に止め、頻繁に消毒を行う。また大声での誘導・アナウンスは避ける。

4. 感染予防策の周知と要請

4-1 政府・自治体・展示会場等の新型コロナウイルス関連最新情報の収集と共有

4-2 会場内の混雑状況の監視と対応

4-3 接触確認アプリ（大阪コロナ追跡システム、COCOA）などのインストール、稼働の徹底

上記「1」～「4」の対応策につきましては、令和2年9月11日に内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室から公開の「11月末までの催物の開催制限等について」の別紙チェックリストにもとづき、対応に当たります。

【11月25日開催プレゼン審査会（二次審査会）での対応策】

■開催概要

日 時：2020年11月25日（水）13：00～18：00

会 場：日刊工業新聞社 大阪支社 10F セミナールーム

審査会場（定員60名、スクール形式の場合）、学生控室（定員40名、スクール形式の場合）

参加者（予定）

：審査員11名〔審査委員長（1名）、審査委員（8名）、特別委員（2名）〕

：学 生40名（予定）

：スタッフ4名

■追加対策

1. 審査会場および学生控室への来場制限

- 1-1 各チーム審査会への参加は代表2名に限定し、審査会場および学生控室の3密を回避する。
- 1-2 例年、指導教員の随行を許可しているが、今回は不可とする。
- 1-3 代表以外の学生および指導教員は、オンライン会議ツール「ZOOM」で参加する。
- 1-4 学生控室への入場時間を指定することで学生控室の3密状態を回避する。

2. ソーシャルディスタンスの確保

- 2-1 各審査員の間隔は1m以上を確保する会場レイアウトとする。
- 2-2 各審査員の間にはアクリル板を設置し、飛沫の飛散を回避する。
- 2-3 学生発表者の演台にアクリル板を設置し、飛沫の飛散を回避する。

3. 健康と安全対策の促進

- 3-1 運営スタッフ向けのビニール手袋およびフェースシールドの配布
- 3-2 会場内の換気に加え、大型空気清浄機2台を設置して換気の徹底を図る
- 3-3 会場の座席、マイクの消毒や、多くの人が触れる場所の清掃・消毒の徹底
- 3-4 マイクを複数台用意し、頻繁に消毒を行う。また、学生発表者の変更のたびに演台周辺の消毒を実施する。

【12月7日開催最終審査会・表彰式での対応策】(予定)

※催物の開催制限」の内容変更を受け、実施方法を再検討する場合があります。

■開催概要

日 時：2020年12月7日(月)13:30~17:25

会 場：北おおさか信用金庫7Fホール(定員100名、スクール形式の場合)

：審査員12名〔審査委員長(1名)、審査委員(8名)、特別委員(3名)〕

：来賓(プレゼンター等)3名

：司会1名

：学 生16名

：スタッフ8名(北おおさか信用金庫2名、日刊工業新聞社6名)

■追加対策

1. 審査会場および学生控室への来場制限

1-1 各チーム審査会への参加は代表2名に限定し、審査会場および学生控室の3密を回避する。

1-2 例年、指導教員の随行を許可しているが、今回は不可とする。

1-3 代表以外の学生および指導教員は、オンライン会議ツール「ZOOM」で参加する。

1-4 参加学生・一般参加者・協賛企業・後援団体関係者は、YouTube Live 配信で参加する。

2. ソーシャルディスタンスの確保

2-1 各審査員の間隔は1m以上を確保する会場レイアウトとする。

2-2 各審査員の間にアクリル板を設置し、飛沫の飛散を回避する。

2-3 司会および学生発表者の演台にアクリル板を設置し、飛沫の飛散を回避する。

3. 健康と安全対策の促進

3-1 運営スタッフ向けのビニール手袋およびフェースシールドの配布

3-2 会場および関連施設の換気の配慮

3-3 会場の座席、マイクの消毒や、多くの人に触れる場所の清掃・消毒の徹底

3-4 マイクを複数台用意し、頻繁に消毒を行う。また、学生発表者の変更のたびに演台周辺の消毒を実施する。

4. そのほか(開催・表彰式)

4-1 実行委員会挨拶は、アクリル板を設置した演台で行う。

4-2 表彰パネルおよび目録の授与の際は、プレゼンターは手袋を着用し、これらを手渡しする。

4-3 授与の際は、司会が代読することで飛沫のリスクを回避する。

4-4 授与の際は、背面スクリーンに他の参加者を表示して記念撮影を行う。

4-5 審査委員長総評は、アクリル板を設置した演台で行う。

4-6 受賞学生全員による記念撮影時は、各参加者の間隔は1m以上を確保するとともに、背面スクリーンに他の参加者を表示して行う。

4-7 表彰式終了後の懇親会の開催は取りやめることとする。